

芙蓉

vol. **52**

2016.4月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地

TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119

<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL0545-55-1811
複合型サービス	みぎわの里	TEL0545-30-7952

「介護付き有料老人ホーム事件に思う」

みぎわ園施設長 佐々木 孝

昨年来、川崎市の介護付き有料老人ホームでのNHK報道の入居者虐待映像、そしてここに来て転落事故が殺人事件へと、尊い命を若干20歳代の介護職員によって奪ってしまった悲劇的な事実は、世間を大きく震撼させています。

各紙新聞、TV報道は様々な見識者達により介護事業者、介護職員達に向け論評が出されました。しかしどの論評も事件内容のみを視点にした表現口述や、活字として「なぜに」「その背景は」「原因は」等々を問うとした批評するものが主であったように感じます。日々、直接老人介護に携わる全国での多くの介護者達にこの事件は大きく影響を与え、強いて言えば同業に対する不信感にも似た精神的ダメージを、知ってか知らずか論じているコメントでした。起こった事件は、決して許される事ではありません。しかし、この背景に要る大勢の介護者達は、人が人を見るとする「感情労働」を主たる業務内容として取組み、努力している事を忘れないでほしい

と思います。

国はある時から、「規制緩和」の名の下で誰でもこの介護事業に参入できるとして、営業、利潤を優先に商売としての生業に解き放し、又は箱物（特養ホーム）を作れとお触れを出してきています。

お年寄りに寄り添い、楽しい時、寂しい時、哀しい時、苦しい時、痛い時、笑顔の時、その時々、同居家族として同じようにその思いに沿える、そんな仲間たちの集まりが介護現場であるよう努力し、そこに向けて研修し、研鑽して真摯に取り組む福祉事業であるべきと考えます。

この事を受け、また何らかの指導、規制、基準が提示されるのですが、デスクワークでは解決の出来ない、この「感情労働」へ真に福祉を理解し、心ある介護力の有する事業者、人材の育成、安心と自信そして信頼の持てる老人福祉、介護事業への分岐点になることを願います。

みぎわ園

Valentines Day

2月12日に、毎年恒例となっている、“バレンタインチョコ作り”を行いました。男性職員への思いを込めた生チョコを、皆で一生懸命になって作りました。

♥カワイク♥ラッピングもして、男性職員に手渡しでプレゼント♥

男性職員も皆とても喜んで、「美味しい、美味しい」と全量摂取!?

渡した入居者様も嬉しそうな笑顔を浮かべていました。

今後も入居者様に参加してもらい、いろいろなお菓子作りを楽しみたいと思います。



* デイサービスセンターみぎわ園 *

新年最初の外食&
初詣へ行きました。
2月は手作業で鬼の
壁飾りを作りました。

皆さん今年も1年
お元気で！

新年早々、
ご馳走が食べられて
シアワセ！

はい！
完成です。

さあ、集中、
集中...



* ふようデイサービスセンター *

今年にはいりまして1月に初詣、
2月に節分祭をおこないました。

初詣

鬼は外！
福よ来い！

節分祭

レクリエーション

今年も良い年にな
りますよーに...

『富士宮浅間大社に初詣に行きました』

『節分祭で豆まき』

『物作りレクリエーション(上)』
『ゲームレクリエーション(下)』

負けないぞ!!

* みぎわの里 *

お

正

月



的当て
選手権~♪

節分

鬼、登場！

豆つかみ
選手権~♪



見えない
わね...



見つけ!!



いや~、
こないで~

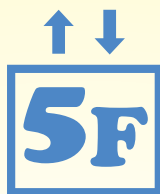
鬼は~外

* ひまわり園 *



大地

バレンタインの調理実習で幼児さんはクッキーを作りました。クッキーの中に飴を入れて可愛く、綺麗に出来ました。



銀河

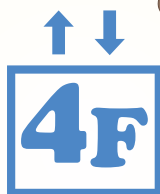
毎年恒例になっているボウリング大会に行ってきた。チームを作って楽しむ事が出来ました。



けやき



行事で時の栖に行ってきました。広場で駆け回ったり、みんなで温泉にも入りました。イルミネーションもとても綺麗で子ども達の瞳もキラキラ輝いていました。



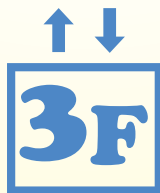
かえで



子どもの国に雪遊びをしに行ってきました。普段見ない雪に大興奮！そり遊びをして、美味しいおしるこを食べて大満足の日でした。楽しかったね！

りんどう

どんな形にしようか悩みながら楽しく、みんなでバレンタインのお菓子作りをしました。



さくら



毎月15日は、小学校で決められている「ノーメディアディ」で小さい子が遊びだしたプラレール、トミカの周りに集まって遊んでいて、微笑ましい一面でした。



みどり園

12月「クリスマス」

クリスマスソングが流れ、子どもたちはワクワクした表情で、みどり園内のクリスマスの装飾を見ていました。

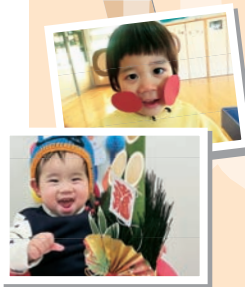
クリスマス会では、子どもたちは小さなサンタクロースになり歌や遊戯を披露しました。



1月「あけましておめでとう!」

子どもたちは、羽根つき・福笑い・凧揚げなどお正月遊びを楽しみました。

寒さにも負けず、みんな元気に笑ったお正月でした。



2月「節分」

子どもたちは可愛らしい鬼の顔をつくり、お豆に見立てたカラーボールを鬼に目掛けて投げました。

“赤鬼”が登場して泣いてしまう子もいましたが、「おには～そとぉ!ふくはぁ～うち!」と大きな声を出して豆まきをしました。



ありがとう

今年も株式会社ジェイ・ストーム様から助成金をいただき、玩具や晴れ着などを購入させていただきました。また、美影館様のご好意により個人の七五三の写真撮影をしていただきました。

ひろみ

ひろみでは節分の日の恵方巻を、入試を控えた子どもに合わせて、少し早めに頂きました。今年の方角の南南東を向いて、皆で願い事を念じながら頼張りました。中でも入試を控えたYさんは、例年にもなく、真剣に無言で時間をかけて頼張っていました。



「自分を愛するように隣人を愛しなさい」 「子どもとお年寄りの幸せのために」

いつも、本会事業の推進にあたり種々ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年の問題は、社会福祉法改正（社会福祉法人制度改革）について考えなければならない。
すべての社会福祉法人が法人経営に対して今まで以上に襟を正し、より一層、自律的組織となって国民の負託に応えていかなければならない。
社会福祉法人が社会の信頼と支持のもとで、今後も社会福祉の担い手としての役割を果たしていくことができるよう、公益法人としてふさわしい経営組織体制の構築・組織・事業の透明性向上にしっかりと取り組んでいかなければならない。

そのため、社会福祉法人が地域の生活課題や福祉ニーズに積極的に対応し、国民の負託に応えるために創意工夫のもとで福祉サービスを積極的展開できるよう、自立性や主体性を持った経営をし経営努力が法人経営に反映される制度としなければならない。

芙蓉会の3園も上記の指摘について考え、より良いサービスを考え実行する年度としたい。

役員、職員は理念を守る努力をします。

以上の状況を考慮し、当芙蓉会の法人本部・みどり園・ひまわり園・みぎわ園各事業の計画案を提出いたします。

法人本部

1951年に社会福祉法が制定され、社会福祉法人は我が国の社会福祉事業の主な担い手として大きな役割を果たして参りましたが、近年その社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変化しております。また、我が国が超高齢化社会へ突入し、更に加速しつつある中、社会福祉法人は介護・福祉等の重要な担い手として一層の役割が期待されております。今後も福祉サービスの中心的な担い手であり続けるため社会福祉法人制度の見直し（公益性・非営利性の徹底、国民に対する説明責任、地域社会への貢献）が論議され、特に経営組織のガバナンス強化と事業運営の透明性向上、更に人材確保の推進が図られております。「社会福祉法等の一部を改正する法律案」の全面施行に向け、その課題の把握と解決に向けて進んで参りたいと考えております。

社会福祉法人芙蓉会が地域社会との信頼関係を構築し、更なる質の向上とガバナンスを高めていくことが重要であり、法人理念の下、透明性（情報公開）・倫理性（苦情解決）・組織性（内部監査・監事監査・外部監査）の積極的な取り組み姿勢、労務管理（人材育成、職場環境の整備）、地域貢献活動の実践を推進して参ります。

また、労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック制度」の導入に向けた整備を図って参ります。

最後に、昨年に続き新任職員研修で外部講師（坂倉裕子氏）による「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供を目指して参ります。

児童養護施設ひまわり園

平成24年度に厚生労働省より「社会的養護の課題と将来像の実現に向けて」が発表され、児童養護施設の今後のあり方として

①「小規模化と施設機能の地域分散化による家庭的養護の推進」
②「本体施設は専門的ケアや、地域支援を行うセンター施設として高機能化を図る」という大きな役割転換を求められることとなりました。これは、既にご報告申し上げた通り平成41年度（2029年度）には実現していることを目指すというものです。

具体的には、社会的養護の必要な児童への対応として、児童養護施設の本体施設、グループホーム、里親等の児童割合を3分の1ずつにしていこうというもので、更に児童養護施設は本体定員の小規模化（本体施設は45名以下とし、全てを小規模ケア化する）と施設機能の地域分散化を行い、更に本体施設は被虐待児や発達障害児の支援を行えるように高機能化するという将来の方向性が示されています。ひまわり園において、この制度改革を実現していくにあたってはいくつかの課題があります。

- ①定員90名から45名への定員減による課題
 - 経済的に既存建物の維持管理ができるのか（個別的対応が可能な改修、老朽化に伴う修繕、光熱費等の費用）
- ②人材の確保・育成
 - より深刻な入所ケースに対応できる専門性のある人材の確保と育成。
 - 地域支援を行う組織整備。
 - 相談業務（家庭支援、里親支援）に精通した人材の確保と育成
- ③勤務形態の改善
 - 労働基準法に準拠した勤務体制、労働条件の整備

入所型の施設においては24時間体制での職員配置、更に幼児・児童においては継続的な日常生活における個別的愛着・信頼関係を築いていかなければなりません。ひまわり園は創設以来、住み込み体制をとって参りました。子どもと起居を共にする中で、関係性を深め自立を支援してきました。しかし職員確保もままならず、平成8年の改築に際して通勤体制をとることになりました。そして、その当時から現在に至るまで、朝夕基本的に同じ職員が子どもと関わることを前提とした断続勤務体制と、職員と子どもの関係を重視したユニット制を採用してきました。そのため保育士は月10回程度の宿直を行っています。所轄の労働基準監督署には施設の特性を説明して理解をもらっているとは言え、他県では労働基準法違反であると許可されない地域があるというのが現状です。職員配置基準において「児童：職員」が「6：1」から「4：1」に改善されましたが、職員確保が困難である現実はまだ深刻化してきています。

こうした課題を抱えつつも国が求める小規模化の実現に向けて、ひまわり園では28年度に「小規模グループケア」（定員8名以下）を1カ所実施することにいたしました。きめ細やかな個別的ケアを実施するためには小規模化は欠かせないものであり、より家庭的な生活環境を保障することで子どもの生活の安定化を図り、職員との愛着・信頼関係を深め、自立を支援していくことができるよう努めます。しかし、現状において養育単位の小規模化を実施していくにあたっては、職員個々の資質の向上、支援のあり方、支援内容の可視化など、いくつかの課題があります。「子どもたちの最善の利益の保障」と「権利擁護」のために研修を積み重ね、ひまわり園が今持っている良さを生かしつつ、新しい考え方に柔軟に対応できる職員集団を目指します。

また、平成26年に閣議決定された「子どもの貧困対策に関する大綱について」に基づき、「子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないように必要な環境整備と教育の機会の均等化を図る」ことを目的として、子どもたちが高等教育を受けられるように努力をしてまいります。平成28年度は高等学校を卒業した女子3名（短期大学進学2名、就職1名）に対して、措置継続をして引き続き支援していくことにしました。今年度も、希望する子どもたちが専門教育を受けられるよう

支援していきたいと考えます。

28年度は第三者評価（3年に1度の受審義務）を受ける年でもありますので、評価を通して新たな課題を発見し改善する取り組みを行いたいと考えます。

地域小規模児童養護施設ひろみ

本体施設の支援のもと、地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持ちながら、個別のニーズに沿ったサービスを提供することを目指します。年度末でひろみ開設当初より勤務していた保育士が退職し、新任職員を迎え入れるというひろみにとっては大きな転換期を迎えますので、本体施設の協力を得ながら、子ども職員共に安定した生活が送れるよう十分配慮してまいります。新しく入所する児童に対しては、落ち着いた生活が送れるように、学校や児童相談所などと連携し、十分に配慮して養育していきます。ひろみを自立後、生活が安定しない卒業生もおりますので、アフターケアについても具体的な計画を立てて、積極的に実施してまいります。

また各施設、家庭的養護推進計画を進めていかなければならない中、先駆的に地域小規模施設を運営してきたひまわり園に情報提供を求められることが多くなると予想されます。ひろみが今まで培ってきた実践的な知識や運営システムを、研修会や施設見学等を通して、積極的に発信していくことで、他施設や関係機関に対しても協力していきます。

平成28年度は本体施設の支援のもと、以下の基本目標に基づき、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して事業を推進します。

恩賜記念みどり園

社会福祉法人芙蓉会創立の理念に沿い、乳幼児の人格発達における乳児期の重要性を考慮し、定員は乳児30名ですが、入所児童の減少から平成28年度も暫定定員24名の事業となることが予想されるため、積立金を取り崩しての事業を実施します。

児童養育については、社会福祉法及び児童福祉法や、乳児院運営指針に則り、下記の基本目標や実施目標を中心に据え、平成26年度に策定したみどり園の家庭的養護推進計画を実現すべく、別添え資料の通り事業を進めます。

また、家庭的養護推進計画では暫定定員が4年目となる平成28年度は、静岡県に依頼されて増やした定員の見直しを実施する年度としているため、適正な定員の設定をすべく、静岡県との協議を試みます。

また、看護師の定数を満たせない状態ですが、平成27年度から実施している、家庭に帰ることが出来る、児童養護施設等にも措置変更できない3歳以上の幼児を対象とした小規模グループケアを継続して実施します。「家庭的」とは対局的「管理的」な要素を多く残す乳児院の運営ですが、子ども達の安心や安全の確保を第一に考え、「子ども主導の心を育てる養育」を継続しながら、子ども達により良い養育環境が提供できるように、養育単位の小規模化と、家庭との連絡調整を密にし、早期家庭復帰の実現や、家庭再構築に向けた里親委託の推進を心掛けた養育を心掛けます。最後に、社会福祉事業法の改正で社会福祉法人に課せられた地域貢献については、今年度も乳幼児の健全育成を考慮し、当園で実施可能な地域貢献事業について実現できるように努力します。

特別養護老人ホームみぎわ園

今年度は、昨年（H27）の介護保険改定後の影響に、在宅系介護部門にあったが入居サービス事業は幸いベッド稼働率の高率維持で凌いでいる現状で、次の改定（H30年）に向けた目先の効いた方向性を見定める年度であります。まず一つに、特養入居判定基準にある要介護Ⅲ以上とした重度化する特養入居者介護のケア支援に介護、看護のスキル内容の変更が求められていると思います。重度化ケア施設の準病院化、長期療養病棟にも似た施設等、生活の場から療養の場ともなり得ないこれらの雰囲気、個別ケアの充実などで担当職員の心のケア等のサポートがより求められてきます。変化著しい在宅系介護サービス、特に通所介護（デイサービス）部門の特色と特性を持った集客性の高い介護サービスの提供、展開も求められて来ています。

これらの事と今後の介護事業収支を鑑み上で、「費用対効果」の点で介護人材確保と人件費の問題、光熱費、業務委託費等は、将来に向け早急に整備しなければならない経費背景と考えています。国は「介護離職者ゼロ」を一億総活躍社会のフレーズとして提唱し、アベノミクス経営戦略「新三本の矢」にいう、新施設整備、収容建物の大きな柱と、直接介護に働く職員の離職ゼロを現社会保障費の削減が叫ばれる中、介護保険事業収入にどのように反映するかは不透明であり、これからの経営スタンスを整え、どう施策を組上げていかその必要性も感じています。ただ介護人材の確保は急務であり、それに見合う手段を整備し「採用して育てる」を基本方針に掲げ、定着性の高い職場環境を整える必要性があります。その上での職制賃金との整合とバランスをどうするか難しい局面にもあります。

もう一つには一般経費の削減が求められています。その様な中、電力料は大きな要素の一つであり、大型建物施設の経費配分に光熱費は大きく、今後電力の自由化の方向性を見定める必要性もあります。特に同施設内の電灯消費は経費に占める所が大きく、過剰とも思える電気、電灯設備の省エネ化は今年度の大きなテーマとしていく必要性を感じています。耐用年数を限りとする大型設備、建物維持管理をする上での対策等、資金手当て組みながら進めるとする今年度計画であります。

平成28年度 社会福祉法人芙蓉会 予算計画

平成28年度 資金収支予算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日 (単位:円)

勘定科目	本年度(A)	前年度(B)	増減額(A)-(B)	備考
収入				
介護保険事業収入	694,088,000	624,386,000	69,700,000	
児童福祉事業収入	446,128,000	427,190,000	18,938,000	
借入金利息補助金収入	150,000	258,000	-108,000	
経常経費寄附金収入	1,630,000	3,483,000	-1,853,000	
受取利息配当金収入	930,000	1,330,000	-400,000	
その他の収入	9,088,000	11,090,000	-2,001,000	
流動資産評価増等による資金増加額				
事業活動収入計(1)	1,192,013,000	1,067,737,000	84,276,000	
人件費支出	796,214,000	676,257,000	119,957,000	
事業費支出	173,582,000	185,624,000	-12,042,000	
事務費支出	109,844,000	118,938,000	-9,094,000	
利用者負担軽減額	1,288,000	833,000	455,000	
支払利息支出	3,709,000	4,161,000	-452,000	
その他の支出	6,169,000	6,630,000	-461,000	
事業活動支出計(2)	1,090,807,000	992,443,000	88,364,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	61,206,000	75,294,000	-14,088,000	
施設整備等補助金収入	9,500,000	41,305,000	-31,805,000	
施設整備等寄附金収入				
設備資金借入金収入		50,000,000	-50,000,000	
固定資産売却収入				
その他の施設整備等による収入				
施設整備等収入計(4)	9,500,000	91,305,000	-81,805,000	
設備資金借入金元金償還支出	34,988,000	29,230,000	5,758,000	
固定資産取得支出	36,934,000	154,680,000	-117,746,000	
固定資産除却・廃棄支出				
ファイナンス・リース債務の返済支出				
その他の設備整備等による支出				
施設整備等支出計(5)	71,922,000	183,910,000	-111,988,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-62,422,000	-92,605,000	30,183,000	
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入				
長期運営資金借入金収入				
投資有価証券売却収入				
積立資産取崩収入	41,852,000	660,000	41,192,000	
拠点区分間繰入金収入				
その他の活動による収入				
その他の活動収入計(7)	41,852,000	660,000	41,192,000	
長期運営資金借入金元金償還支出		9,996,000	-9,996,000	
長期貸付金支出				
投資有価証券取得支出				
積立資産支出	10,351,000	19,076,000	-8,725,000	
拠点区分間長期貸付金支出				
拠点区分間長期借入金返済支出				
拠点区分間繰入金支出		19,000	-19,000	
その他の活動支出計(8)	10,351,000	29,091,000	-18,740,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	31,501,000	-28,431,000	59,932,000	
予備費支出(10)	761,000		761,000	
歳入資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	28,524,000	-45,742,000	75,266,000	
前期未支払資金残高(12)	278,953,209	312,884,548	-33,931,339	
当期末支払資金残高(11)+(12)	308,477,209	268,942,548	41,534,661	

社会福祉事業区分 資金収支予算明細書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日 (単位:円)

勘定科目	法人本部	ひまわり園	みどり園	みぎわ園	合計	内部取引消去	事業区分合計
人件費支出	1,350,000	198,200,000	142,454,000	456,210,000	796,214,000		796,214,000
役員報酬支出							
職員給料支出	126,520,000	84,098,000	289,499,000	480,117,000	480,117,000		480,117,000
職員手当支出	36,420,000	26,054,000	81,745,000	144,219,000	144,219,000		144,219,000
非常勤職員給与支出	1,300,000	4,570,000	13,583,000	41,331,000	60,784,000		60,784,000
派遣職員費支出	1,500,000	947,000		2,447,000	2,447,000		2,447,000
退職給付支出	2,610,000	1,249,000	11,522,000	15,381,000	15,381,000		15,381,000
法定福利費支出	50,000	24,500,000	16,523,000	52,113,000	93,266,000		93,266,000
事業費支出	173,582,000	109,844,000	20,922,000	80,960,000	173,582,000		173,582,000
事務費支出	24,310,000	5,798,000		32,239,000	62,407,000		62,407,000
介護用品費支出			7,128,000	7,128,000	7,128,000		7,128,000
医薬品費支出			2,375,000	2,375,000	2,375,000		2,375,000
保健衛生費支出	866,000	737,000	1,120,000	2,717,000	2,717,000		2,717,000
雑費支出	1,360,000	590,000	1,081,000	3,031,000	3,031,000		3,031,000
事業費雑費支出	2,000,000	783,000	2,833,000	2,833,000	2,833,000		2,833,000
日用品費支出	460,000	1,432,000		1,892,000	1,892,000		1,892,000
本人支給金支出	9,380,000	3,480,000	23,412,000	12,860,000	12,860,000		12,860,000
水道光熱費支出	9,710,000	1,708,000	34,830,000	34,830,000	34,830,000		34,830,000
燃料費支出		1,757,000		1,757,000	1,757,000		1,757,000
消耗材料費支出	2,880,000	960,000	4,490,000	6,330,000	6,330,000		6,330,000
保険料支出	1,070,000	335,000	1,150,000	2,555,000	2,555,000		2,555,000
賃借料支出	3,960,000	2,720,000	3,719,000	10,399,000	10,399,000		10,399,000
教育指導費支出	13,170,000	56,000	13,226,000		13,226,000		13,226,000
幼児教育指導費	18,000	56,000	246,000		246,000		246,000
高齢者教育指導費	3,800,000		2,600,000		3,000,000		3,000,000
高校教育指導費	5,970,000		5,970,000		5,970,000		5,970,000
学校給食費	2,310,000		2,310,000		2,310,000		2,310,000
訓練指導費	1,100,000		1,100,000		1,100,000		1,100,000
初級支援費支出	1,110,000		1,110,000		1,110,000		1,110,000
事務費支出							
車庫費支出	1,160,000	230,000	3,186,000	4,576,000	4,576,000		4,576,000
雑支出	190,000	366,000		556,000	556,000		556,000
事務費支出	7,560,000	13,020,000	15,768,000	73,496,000	109,844,000		109,844,000
福利厚生費支出	110,000	2,020,000	1,789,000	3,171,000	7,090,000		7,090,000
職員福利費支出	10,000	70,000	385,000	465,000	465,000		465,000
旅費交通費支出	650,000	440,000	284,000	40,000	1,414,000		1,414,000
研修研究費支出	300,000	640,000	1,240,000	900,000	3,080,000		3,080,000
事務消耗品費支出	300,000	750,000	300,000	1,557,000	2,907,000		2,907,000
印刷製本費支出	100,000	80,000	3,000	328,000	511,000		511,000
水道光熱費支出	10,000			10,000	10,000		10,000
燃料費支出							
修繕費支出	10,000	1,100,000	3,300,000	6,536,000	10,946,000		10,946,000
通信運搬費支出	800,000	1,100,000	345,000	2,140,000	4,425,000		4,425,000
金庫費支出	100,000	10,000	53,000	80,000	243,000		243,000
広報費支出	100,000	210,000	139,000	546,000	995,000		995,000
業務委託費支出	440,000	3,400,000	5,475,000	48,172,000	58,487,000		58,487,000
手数料支出	400,000	310,000	288,000	1,513,000	2,512,000		2,512,000
保険料支出							
賃借料支出	460,000			460,000	460,000		460,000
土地・建物賃借料支出		120,000		2,453,000	2,573,000		2,573,000
施設公費支出	410,000	90,000	2,000	450,000	952,000		952,000
保守料支出	370,000	1,440,000	1,402,000	3,228,000	6,440,000		6,440,000
渉外費支出	650,000	110,000	96,000	267,000	1,123,000		1,123,000
謝金費支出	50,000	460,000	415,000	490,000	1,415,000		1,415,000
雑支出	2,300,000	690,000	598,000	240,000	3,786,000		3,786,000
利用者負担軽減額			1,288,000	1,288,000	1,288,000		1,288,000
支払利息支出		4,970,000	1,159,000	3,709,000	3,709,000		3,709,000
その他の支出		4,970,000	1,124,000	10,000	6,104,000		6,104,000
雑支出			35,000	30,000	65,000		65,000
流動資産評価増等による資金減少額							
有価証券売却額							
資産評価額							
有価証券評価額							
繰越不純額							
事業活動支出計(2)	8,010,000	285,680,000	190,833,000	815,704,000	1,090,807,000		1,090,807,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-6,010,000	3,160,000	-18,276,000	76,102,000	61,206,000		61,206,000

社会福祉事業区分 資金収支予算明細書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日 (単位:円)

		区 分					(単位：円)
勘 定 科 目		法人本部	ひまわり園	みどり園	みぎわ園	合 計	内部取引消去
事業区分合計	介護保険事業収入				694,088,000	694,088,000	694,088,000
	施設介護料収入				275,538,000	275,538,000	275,538,000
	介護報酬収入				246,680,000	246,680,000	246,680,000
	利用者負担金収入(公費)				302,000	302,000	
	利用者負担金収入(一般)				28,546,000	28,546,000	
	居宅介護料収入				128,344,000	128,344,000	
	(介護報酬収入)				114,303,000	114,303,000	
	介護報酬収入				108,832,000	108,832,000	
	介護予防報酬収入				5,471,000	5,471,000	
	(利用者負担金収入)				14,041,000	14,041,000	
	介護負担金収入(公費)				39,000	39,000	
	介護負担金収入(一般)				13,382,000	13,382,000	
	介護予防負担金収入(一般)						
	地域密着型介護料収入				94,708,000	94,708,000	
	(介護報酬収入)				84,187,000	84,187,000	
	介護報酬収入				84,187,000	84,187,000	
	介護予防報酬収入						
	(利用者負担金収入)				10,521,000	10,521,000	
	介護負担金収入(公費)						
	介護負担金収入(一般)				10,521,000	10,521,000	
	介護予防負担金収入(公費)						
	介護予防負担金収入(一般)						
	居宅介護支援介護料収入				22,608,000	22,608,000	
	居宅介護支援介護料収入				17,304,000	17,304,000	
	介護予防支援介護料収入				5,304,000	5,304,000	
	利用者等利用料収入				123,338,000	123,338,000	
	施設サービス利用料収入				1,933,000	1,933,000	
居宅サービス利用料収入							
福祉サービス利用料収入							
利用者等利用料収入							
食費収入(公費)				109,000	109,000		
食費収入(一般)				60,339,000	60,339,000		
居住費収入(公費)							
居住費収入(一般)				60,957,000	60,957,000		
その他の利用料収入							
補助金事業収入				49,550,000	49,550,000		
市町村特別事業収入				2,856,000	2,856,000		
受託事業収入				46,484,000	46,484,000		
その他の事業収入							
(保険年金支出等)							
施設管理費事業収入		282,800,000	163,328,000		446,128,000	446,128,000	
施設管理費収入		273,640,000	157,670,000		431,310,000	431,310,000	
事務費収入		213,850,000	139,810,000		353,660,000	353,660,000	
事務費収入		59,790,000	17,860,000		77,650,000	77,650,000	
その他の事業収入		8,160,000	5,650,000		13,810,000	13,810,000	
補助金事業収入		2,420,000	1,628,000		4,050,000	4,050,000	
受託事業収入		210,000	470,000		680,000	680,000	
その他の事業収入		6,520,000	3,560,000		10,080,000	10,080,000	
借入金利息補助金収入				150,000	150,000	150,000	
雑収益等雑所得収入		500,000	680,000	300,000	150,000	1,630,000	
受取利息等雑収入		300,000	30,000	90,000	10,000	830,000	
その他の収入		1,800,000	5,540,000	1,339,000	410,000	9,089,000	
人件費費収入			200,000	120,000	300,000	620,000	
利用者等外費収入			4,900,000	1,124,000	10,000	6,034,000	
雑収入		1,800,000	440,000	95,000	100,000	2,435,000	
流動負債等減価償却による資金増加							
有価証券売却益							
有価証券評価益							
為替差益							
事業区分合計(注1)		3,100,000	298,080,000	165,087,000	694,908,000	1,152,013,000	1,152,013,000

ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げるとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略）

● 静岡県アミューズメント協会 ● 相沢晴彦 ● ㈱アウル ● ㈱東食品 ● 荒川さき子 ● 青野之映 ● 秋山芳浩
● いいずみファミリークリニック ● 石原かわら店 ● 伊藤芳亮 ● 伊藤さかえ ● 井上建設㈱ ● 井上暉英 ● 公認会計士 伊藤芳亮
● 石川米店 ● 内匠電機 ● ㈲エイアンドエイ ● 圓妙寺 ● 沖本洋子 ● 落合左官 ● 少年指導員 大石朋彦 ● 小穴登登
● お米日本一コンテストIN静岡実行委員会 ● 太田智 ● 落合理 ● 門司一徹 ● ㈱角山 ● ㈱カミオ ● 神尾智久 ● 梶本直正
● 川島泰彦 ● 金刺廣道 ● ㈱かつまた ● カープス富士今泉店 ● カープス富士天間店 ● カープスマックスバリュ八幡町
● カープス富士吉原店 ● 協栄空調㈱ ● 菊池光男 ● 小林園 ● 小西徳三 ● 佐藤昌之 ● 櫻井尚子 ● 佐藤佳子 ● 佐藤みどり
● 早川博美 ● サンコー防災㈱ ● 佐野正 ● 佐野さゆり ● ㈱ジェイ・ストーム ● 静岡ガス ● 志藤好彦 ● 白井ひろみ
● 静岡労務経営研究所 本多良和 ● 志田広孝 ● 鈴木裕子 ● 杉山幹根 ● 須藤和夫 ● ㈲鈴吉商店 ● 鈴木勝 ● 鈴木燃料店
● 鈴木王国 ● 星陵中学校・高等学校 吹奏楽部 ● ソニー生命保険㈱ ● 山田賢一 ● 田中薬品㈱ ● 立石塩谷法律事務所
● 鈴木重勝 ● ㈲ダスキン大富士 ● ㈱ダッドウェイ ● ㈱大松園 ● 土屋医院 ● 伝心寺 ● 戸巻ひさ子 ● 戸巻紀美子
● ㈱TOKAI 富士市支店 ● 中川板金 ● 納得住宅工房 ● 中野充世志（一中） ● 内藤恵美子 ● 仲神洋子 ● 行木秀和
● 永井真理子 ● 日本ベビーフード協議会 ● 日本放送協会 ● 肉の栗清 ● 日本放送協会静岡放送局 ● 布田保孝 ● 野村幹三郎
● 株式会社ハセチュー ● 平林さち子 ● 美影館 ● ピジョンホームプロダクツ㈱ ● 不二軽窓販売㈱ ● 藤巻利治 ● ㈱富士ホンダ
● 富士信用金庫 今泉北支店 ● 富士警察署地域安全課協議会 ● 村松友博 ● 富士中央ライオンズクラブ ● 富士市立吉原第一中学校
● 古村富士子 ● NPO法人フラワーキャンドル ● プレム・ラワット日本事務局 ● ほっともっと ● ポップコーンパバ ● 松本一繁
● ㈱松野精肉店 ● 増田きよ子 ● 増田隆 ● まかいの牧場 ● 毎日新聞東京社会事業団 ● マルハン鷹岡店 ● 宮城設備㈱ 代宮城勇
● 三浦信男・文子 ● みどり園職員有志 ● 緑ヶ丘町内会会長 松本芳泰 ● 緑ヶ丘園芸 ● 妙立寺 ● 村越泉美 ● 望幸建設
● 望月左官 ● 望月喜久江 ● 望月保夫・瑠美子 ● 矢部雄二 ● ヤマグチ電機㈱ ● 山下雄司 ● ㈱ゆとり ● ゆめ・まち・ねっと
● 吉原教会 ● 楽天㈱CSR部楽天サンプラプロジェクト ● 渡辺建設工業㈱ ● 渡辺紀子 ● 渡辺孝 ● 渡邊千恵子

（H27.11.16～H28.2.25）

寄付のお願い

いつも社会福祉法人芙蓉会にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

芙蓉会は、1903年に「隣人愛」を精神として創設者であります渡辺代吉氏により、芙蓉会の前身であります「富士育児院」を創設いたしました。その後、地域社会のニーズと共にあゆみながら乳幼児、児童養護施設、老人施設等をもって答えて参りました。

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金
口座番号 0817169
口座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 戸巻芙美夫
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジチョウ トマキフミオ

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝申し上げます。また新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 } 1口 1,000円 会社 }
個人会費 } 1口 3,000円 団体会員 }

振込先（郵便局振替口座）

・口座番号 00880-0-2423 ・口座名称 芙蓉会後援会

何口でも
結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行
店名 ○八九店
預金種目 当座
口座番号 0002423
口座名義 フヨウカイコウエンカイ

ボランティアさん 紹介

みぎわ園にボランティアで入ってくださっている鈴木妙子様、明石峯子様を紹介いたします。

月に1回、エコクラフト（紙バンド）を入居者に教えてくださるお二人です。前回の広報誌で作品を掲載させていただきました。紙バンド以外にも、さくら餅作りも催していただきました。今後よろしくお願い致します。



鈴木妙子さん（左）
明石峯子さん（右）

編集後記

ようやく暖かく活動的な季節がやってきました。そして、今年はブラジルでリオデジャネイロオリンピックが開催されます。スポーツにおいて忙しい年になりそうです。それに合わせて、皆さんも春から何か始めてみませんか？それが、4年後の東京オリンピックまで継続できているといいですね。

オリンピックを観て日本選手を応援しましょう！！